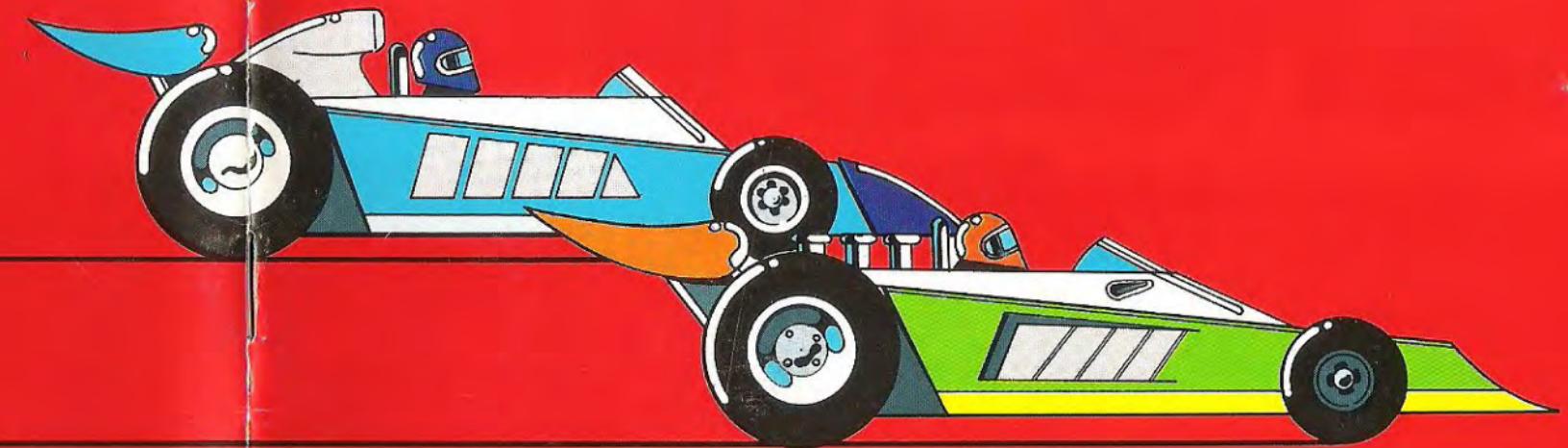


GEIDAI GRIP

GRIP MINIATURE MODELS

■1978 エーダイグリップ ミニチュアカーカタログ



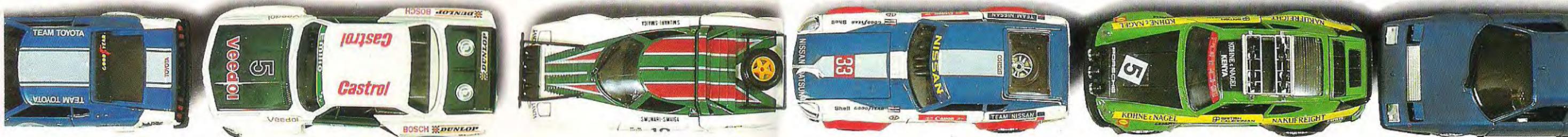
PRINTED IN JAPAN 1978.2 現在

G エータ・イクリップ。
〒116 東京都荒川区西尾久7-37-1 ☎03(800)7831

'78 MINI CATALOGUE

GRIP MINIATURE MODELS

新しい風。グリップのミニチュアカー。



■エーダイグリップの78年版ミニカタログです。
テクニカシリーズ、テクニカ43シリーズ、1/20
テクニカスペシャル、E-1シリーズとグリップの
美しいミニチュアカーがそろいました。それぞれ
美しいカラーで、たくさんのアクションが楽しめ
ます。いろんなタイプの車がありますから大切に
コレクションしてください。



■テクニカシリーズ ランチャストラトス(ラリー)



グリップテクニカシリーズ。

このリアルなジャンボミニチュアカー。グリップファン期待の新開発車続々登場！



テクニカ

グリップミニ知識

③1974年12月パリサロンでデビュー。強力な加速力をもつていてが排気音は静かである。0→100km/h加速は5.2秒というモンスター的な性能。

⑦'76年度にはF1グランプリ第9戦までに5回の優勝記録をもつ。最高速度300km/h以上。なんとその最大出力は500ps/12200rpm。

⑩人々をびっくりさせた6輪ニューマシン。'76年F1レースにデビューし、第7戦スウェーデンGPでは1位、2位を独占した。



ミニメモ

1 フェアレディ240Z(レース) ¥1,700	7 フェラーリ312T2(F-1) ¥1,700
3 ポルシェ930ターボ(ラリー) ¥1,600	9 BMW3.0CSL(レース) ¥1,800
4 フェアレディ240Z(ラリー) ¥1,700	10 タイレル・フォードP-34(F-1) ¥1,600

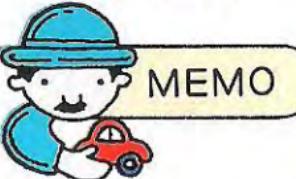
クリッコ。

グリップミニ知識

⑯ベルトーネによるデザインで、66年に発表される。わずか945kgという重量だが、最大出力は385ps/7850rpm、最高速度は285km/hに達する。

⑰V型12気筒4971ccDOHCエンジンをコクピットの背後にマウント。ミッドシップレイアウトの採用により、前後重量配分は理想的となる。

⑱'71年のジュネーブショーでデビュー。いきとどいたフランス車らしい内装、最高速度225km/h。



11 セリカLB2000GT(ノーマル)
¥1,600

16 ランボルギニ・イオタ(ノーマル)
¥1,700

12 ポルシェ930ターボ(ノーマル)
¥1,500

17 ランボルギニ・カウンタックLP500
(ノーマル)
¥1,800

15 ランボルギニ・ミウラ(ノーマル)
¥1,600

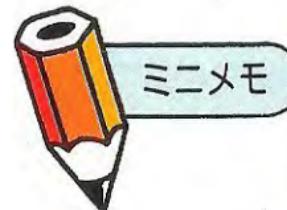
18 アルピーヌ・ルノーA310(ラリー)
¥1,600

テクニカ

グリップミニ知識

⑲ピニンファリナのスタジオで生まれたフェラーリの最高級モデル。最高出力380ps/7500rpm。水平対向12気筒エンジン。最高速度302km/h。

⑳モンテカルロをはじめとする世界のラリー選手権の王者である。市販車は最高速度230km/hでV246GTのエンジンをミッドに横置きに積んでいる。



ミニメモ



19 フェラーリ365 GT4/BB(ノーマル)
¥1,700

25 シビック1500GTL(ノーマル)
¥1,400

20 ランチャ・ストラトス(レース)
¥1,800

26 ポルシェ930ターボ パトロールカー
¥1,600

21 ランチャ・ストラトス(ラリー)
¥1,800

28 ランボルギニ・ミウラ(レース)
¥1,700

GRIP

グリップミニ知識

②最高出力590ps/7900rpmは、2875ccのエンジンから生まれる。最高速度300km/hの怪物マシンである。

③1971年に発表されたマセラティ初のミッドシップエンジン車で、4719ccのV8。最高出力310ps/6000rpm。最高速度280km/h。

④72年パリショーでデビュー。2965cc V6、最高速度240km/hだが、あつかいやすい車だ。

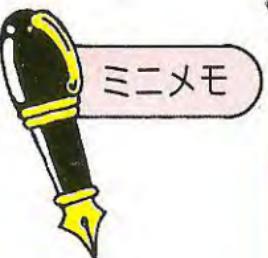
⑤イタリア、アメリカ合作ともいえるフォード製V8、5769ccのエンジン。最高速度280km/h。



テクニカ

グリップミニ知識

⑥エスプリはロータスヨーロッパの後継車である。グラスファイバー強化プラスチックのボディによる重量は900kg。1969ccのエンジンにより最高出力162ps/6200 rpm。最高速度220km/hは2000ccクラスで最高。



ミニメモ

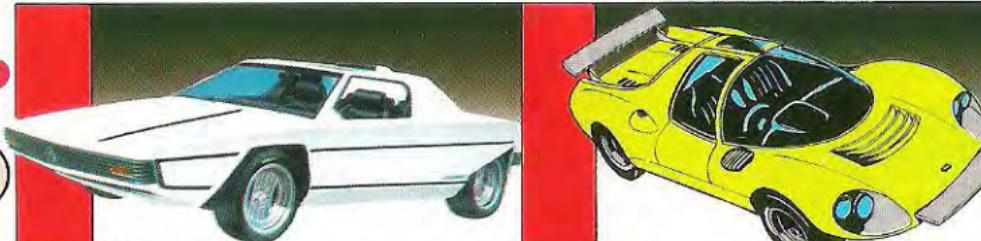


クリッコ。

グリップミニ知識

④ ルーフを簡単にリアに収納する。直線的なベルトーネのデザイン。V8、2926cc、最高出力255ps /7700rpm。76年トリノ・オートサロンで発表された。

⑤ スーパーカーの中のスーパーカー。ベルトーネによる夢のようなデザイン。V8、260馬力エンジンによる最高速度265km/h。



44

フェラーリ・レインボー ■7月発売予定

47

フェラーリ・ディノRS ■6月発売予定



45

ランボルギーニ・シルエット ■8月発売予定

48

ニュースカイライン2000GT



46

ニューセリカLB2000GT

49

ポルシェタルガ

テクニカ

グリップミニ知識

⑥ フロントエンジン、リアドライブだがエンジンは水冷V84474cc。出力240馬力で最高速度230km/h。



ミニメモ



50

アルピーヌ・ルノーA310(レース)

52

ギャラン・ラムダ



51

マルボロ・マクラーレンM-26(F-1)

53

ランボルギーニ・BMW・E-26



54

ポルシェ928

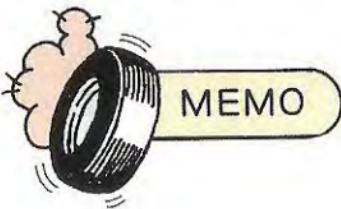
テクニカの名前の意味は?

テクニック、技巧、たくみな使いわけと云った言葉と、車(カー)の言葉、音を合わせてつくった造語です。グリップエーダイは、プラモデルのメーカーです。日本でも早くからクルマのプラモデルを開発し、すばらしい技術の伝統を認められて来ました。

ミニチュアカーを始めたのは1973年からです。プラモデルの技術を生かして工夫を加え立派なミニチュアカーをつくろうと決心して1976年にテクニカを発表スタートしました。精密な表現方法、車のスタイリング特長を巧みにえた伝統ある感覚、良心的な製造は多くのファンの方の支持を頂いています。これからも一層優れたミニチュアカーを発表する予定です。よろしくお願い致します。

テクニカあれこれ

■ミニチュアカーのえらびかた……
①実際にあった自動車で、それをモデルにして縮尺したもの。
②実車のイメージ、クルマのスタイリングの特長、個性を表現している。
③材質はダイカストで、じょうぶでズッシリとした重量感があり、ミニカーの楽しさが伝わってくるもの。
④そのスケールに合った精密さ、表現のテクニック、くふうがあるもの。
⑤タイヤの出来ぐあいや質、ころがした時の状態、クッション性。
⑥ボディーの肌のかんじ、塗装の仕上がり方、カラーの美しさ……など。
⑦メーカーの技術や感觉、創意がゆだかに伝わってくる、そうしたものをおいミニチュアカーの目やすに考え方られています。



■コレクションの仕方いろいろ……
①ミニチュアカーのメーカー別。
②メーカーのシリーズ別。③車の使われている種類別。④実車のメーカー別。⑤パトカーだけとかぎられたなかで。⑥自動車の歴史、年代別に。
⑦同じ大きさのスケールで。⑧国別などなどたくさんのがめ方があり、それぞれその人の自由なのです。
■昨年、昭和52年テクニカが西ドイツに輸出されました。西ドイツには自動車メーカーのボルシェ社があります。テクニカはボルシェの特長をよくつかんでとても良いミニチュアカーだといつてはめてくれました。そしてテクニカのボルシェが本物のボルシェを売るためのお手伝いをすることになったのです。



■スーパージャンボな1/20スケールのミニチュアカーです。ランチャストラトスの3つのタイプがリアルにつくられています。特にライトが実車のように点灯して、サスペンション部封筒式金属スプリングを使用しています。また、エンジン部を取り出せるタイプもあり、付属のスペアタイヤとともに本物のフィーリングをつくりだしています。

■1/20テクニカスペシャル ランチャストラトスは5月発売予定です。御期待ください。

1/20テクニカスペシャルシリーズ。

スーパージャンボなミニチュアカーです。ランチャストラトスの3つのバリエーションをリアルに再現。

1 ランチャストラトス(ラリー)
LANCIA STRATOS HF



2 ランチャストラトス(レース)
LANCIA STRATOS RACING



3 ランチャストラトス(ノーマル)
LANCIA STRATOS



1/43 テクニカ43シリーズ。

テクニカに1/43スケールが生れました。
シリーズ名をテクニカ43としました。

■ミニチュアカーは、1914年今から64年前アメリカでフォードT型が発表されたいへん人気を呼んでスタートしたそうです。今日のスーパーカーブームも顔負けの評判だったのですね。このあと今まで世界各国で実車をモデルとしてつくられました。1930年代になって技術の進歩でぐれたミニチュアカーが次々とできるにつれ、縮尺を1/43前後とするメーカーが多くなって行き、世界中のミニチュアカーファンによってコレクションされるようになりました。

これらの、スケールがミニチュアカーをコレクションし数を集めうえで大きさが適当であり、又価格、製造の面からの事情もあったのでしょうか、世界のミニチュアカーメーカーの標準的縮尺として、1/40又は1/43スケールはコレクションの大勢となっています。もちろん例外のスケールもあり、評判のよい車や大きいスケールの精巧な良さや迫力といった事でスケールアップする楽しさはあります。

スケールが同じであるという事は、同一種を集め、さまざまのちがうメーカーのミニチュアカーをくらべる楽しさ、つごうの良さといったコレクション方法のおもしろさもあると思います。



テクニカ43も古い歴史と実績をもつ世界のミニチュアカーメーカーに仲間入りして、欧米550万人といわれるミニチュアカーファンは、どうしても手に入れたいミニチュアカーを集めるために外国のファンと手紙のやりとりをしながらめずらしいミニチュアカーを交換したり、たのんだり苦労するそうです。

車が好きで好きでたまらないという人や、ミニチュアカーファンに愛着とよろこびを感じている人や大勢の日本や外国のファンの人たちのはげましと協力をいただい



てすばらしいミニチュアカーをつくりたいと考えています。君もお便りを下さいね。現在でも日本のミニチュアカーファンはどうしても手に入れたいミニチュアカーを集めるために外国のファンと手紙のやりとりをしながらめずらしいミニチュアカーを交換したり、たのんだり苦労するそうです。又はその地方だけにしか売っていないミニチュアカーを集めるためにわざわざ買いに行きました。今はもう造っていないミニチュアカーを発見してうれしくてたまら

なかった話、コレクターでなくてはわからないよろこびはり合いがあると思います。

あなたが集めたミニチュアカーがいつか、なにかの時に、5年後、10年後思い出して本当によかったですとテクニカを観賞し、ほほ笑んでもらうことを願います。

あなたもテクニカ43の誕生を応援してください。世界のミニチュアカーテクニカ43のスタートを祝ってコレクションの仲間に入れてください。

1/43 F-1 シリーズ。

■栄光のF-1名車シリーズです。1/43スケールと小つぶですが美しいカラーイングとスタイリングを精密に表現したモデルです。



2 フェラーリ312T2 ■4月発売予定



3 ロータス78 ■4月発売予定



4 マクラーレンM-26 ■5月発売予定



5 ブラバム BT45B ■5月発売予定



■グリップミニ知識……F-1

F-1は「FIA国際フォーミュラ・NO.1」を略したもので、世界選手権グランプリのレーシングカーにいろいろと規則をつけたものです。今の規則は1966年にきめられ12年間も使われています。F-1のエンジンは3000cc以下で最大12気筒まで、最低重量は575キログ

ラム以上。他にもたくさんの規則がありますが、車体の高さ90cm、ホイールベース215cm、フロントウイングの幅150cm以内、リアウイングの幅110cm以内、車体幅は前輪より前は150cm、前輪の後で140cm。安全についてもきびしくチェックされるのです。

グリップのプロトタイプたち。



■エーダイグリップでは新しいミニチュアカーを続々と開発しています。写真のようにダイキャスト製のボディはじょうぶにつくられていますが大切にあつかってください。いつの日いかそれは大切なコレクションとなるのです。

エータ・アイクリッコ。



私とミニチュアカー

商売柄クルマにかけては一つの眼と夢をもっている。お客様の欲求にピッタリくるクルマを選びおすすめしてきた。ランボルギーニ、マセラティの日本総代理店となったのも、私のクルマにかける夢や確信からである。テクニカというミニチュアカーを知って、矢張り、同じ確信がわいてくる。美しいものは良い。私の注ぐ目の厳しさがやがて優しく和らいで行くのが自覚される。クルマの好きなもの同志、矢張り同じ夢をかけていることが伝わってくる。テクニカの確かさ、良さが私にはうれしい。

S
S
A

伊・マセラティ 伊・ランボルギーニ 日本総代理店
有限公司 シーサイドモーター
社長 松沢 己晴



グリップよりグリップファンのみなさまへ。

1770年、フランスのニコラ・J・キューニョーのスチームカー、1885年ドイツのゴットリープ・ダイムラーによる最初のガソリンエンジンによる自動車の発明をスタートに車の歴史はくりひろげられました。そして数々の名車が生れ、いろんなエピソードを残してきました。そうした名車をおしみ、身じかにのこし、おもい出をたいせつにしていく人たちの中にミニチュアカーは生きてきたのです。グリップテクニカはこのカタログ'にもあるように、テクニカ、テクニカ4、テクニカスペシャルなどなど多くのミニチュアカーシリーズをつくっていきます。車の歴史の一コマ、忘れない車、あなたにとっておもい出深い車、名車の数々を発表していきます。